

# RCM ニュースレター

## グラスルーツリサーチ レポート

April 2008

当資料に記載されている内容は、金融商品取引法に規定された「広告」に該当しますので、下記の事項をご確認ください。

金融商品取引業者の商号： RCMジャパン株式会社

当社は、投資助言・代理業、投資運用業の業務を行う金融商品取引業者であり、登録番号は以下のとおりです。

関東財務局長(金商)第424号

社団法人 日本証券投資顧問業協会に加入

投資顧問契約および投資一任契約の対価とリスクについて

### 1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。

投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

### 2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及びデリバティブ取引等は、様々な指標等の変動の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。

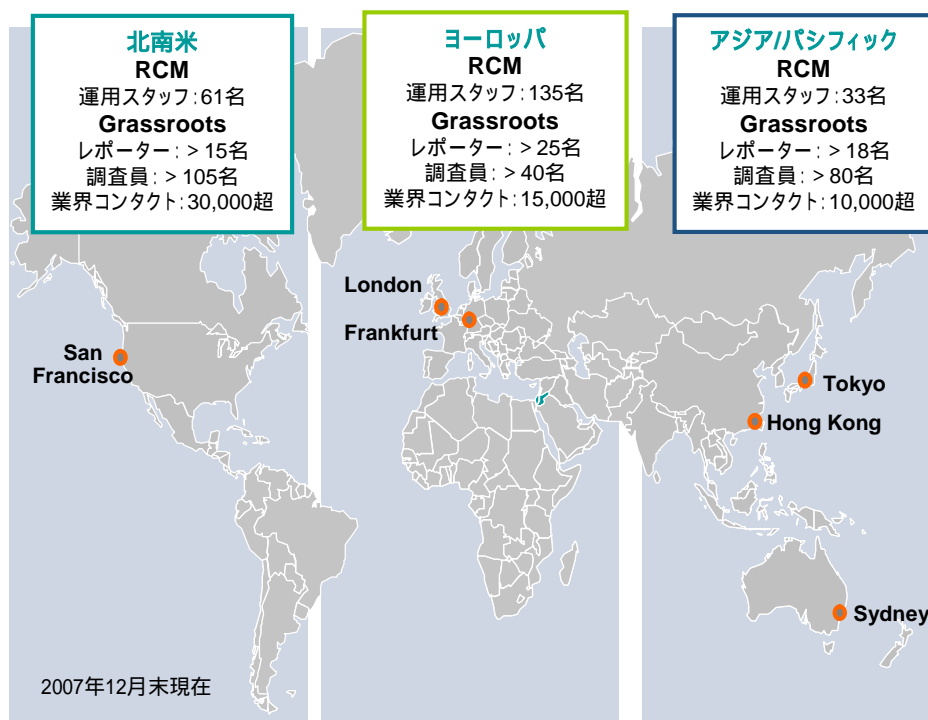
以上

RCMは、ドイツを本拠とするアリアンツ・グローバル・インベスターズのグローバル株式運用部門です。運用資産は1,680億米ドル(18兆7656億円)、従業員数は593名(うち、232名が運用関連スタッフ)、サンフランシスコ、フランクフルト、ロンドン、東京、香港、シドニーに運用拠点を有しています。(2007年12月末現在 米ドル=111.7円換算)

グラスルーツ・リサーチは、RCM独自の調査部門で世界中に300名以上の市場調査員/レポーターが、アナリストによるファンダメンタル・リサーチを補完するために、調査対象の収益機会及びリスクの両方について、通常の株式リサーチとは異なる側面から調査を行っており、20年以上の実績があります。

調査の中から毎月旬な情報をお届けします。

## RCMとGrassroots® (グラスルーツ) リサーチについて



### グラスルーツ・リサーチの流れ

アナリストやポートフォリオ・マネージャーからの依頼を受け、個別銘柄やセクターについての調査を行います。プロジェクト・マネージャーが調査を統括し、レポーターやフィールド調査員が業界(市場)の情報源~コンタクト~から、投資対象候補に影響を及ぼす市場トレンド、競合環境、ビジネス展開などに関する情報を収集しています。消費関連、小売り、医薬品、通信サービス、情報技術、レジャー産業などでは、グラスルーツが特に有効です。

### グラスルーツ・リサーチの優位性

- ・ 独自性
- ・ 銘柄やセクターに対するポートフォリオ・マネージャーの確信度の向上
- ・ ファンダメンタル分析を補完

## パソコン需要 (グローバル)

調査対象: PC小売業者 (米・欧・亜)

“08年第1四半期(1-3月期)のPC及びプリンターの売上に影響する主な要因は販売奨励金、機器の一括販売、付属品や消耗品”



調査によると、08年1月のPC及びプリンターの売上は米、英、独では予想並み、日、台では予想を下回り、中、印ではまちまちだった。08年第1四半期のPC及びプリンター、プリンター消耗品の前期比の売上は米、英、日、中では横ばい、独、台では減少、印では増加と見込まれている。調査実施国のほとんどで、回答者は08年第1四半期(1-3月期)のPC及びプリンターの売上に影響する主な要因として、販売奨励金、機器の一括販売、付属品や消耗品を挙げた。また、日では全ての、台では2/3、独では半数、英では1/3、米では数名の回答者が消費者のマクロ経済懸念に言及した。しかし、回答者の大半でPC在庫に関する問題はなかった。標準的な在庫数については、約半数が1~12週間分の在庫を確保している一方、約半数はカンバン方式を導入している。市場シェアでは、日を除く全ての調査国でデスクトップPC、ノートPC共に08年第1四半期にシェアを伸ばしている首位メーカーとして、高いブランド力、価格競争力、性能の信頼性によりヒューレット・パッカード(HP)の名前が最も多く挙がった。プリンターについては、全調査国で、確立されたブランド力、高い性能とサービスによりHPがシェアを伸ばしているとの回答が最も多かった。シェアが下がっているメーカーとしては、プリンターでは独、台でLexmark、中でFounderとSamsung、印でEpsonの名前が挙げられたものの、PCについては一致した意見はなかった。カラー・レーザー・プリンターは高過ぎると受け止められており、低価格と経済性により一体型及びインクジェット・プリンターが最も売れているとのこと。

## 木材市場 (グローバル)

調査対象: 硬材取扱業者 (米・亜)

“「運賃の影響で、木材価格は既に少なくとも10%上昇した」(マレーシアの回答者)”



中、日、マレーシア、インドネシア、米の硬材取扱業者へのインタビューにより、建築及び家具市場が木材市場に大きく影響を与えており、政府規制は市場にマイナスに影響していることがわかった。米国の回答者は「いくつかの環境問題と政府問題が市場を圧迫している」と述べた。

半年前と比較した木材価格は、中とインドネシアで上昇、日、米で横ばい~若干の上昇、マレーシアで若干の下落。日、米を除き、輸送コスト上昇等によって木材価格は今後6ヵ月も引き続き上昇すると見られている。「運賃の影響で、木材価格は既に少なくとも10%上昇した」とマレーシアの回答者の一人はコメントした。

需要低下が予想されている米を除いた全ての調査国で、08年の木材需要は前年より増加するだろうと見られている。調査によると、中、日、インドネシアでの供給が逼迫しており、中と日では今後6ヵ月も不足が続くと見られている。一方、マレーシアと米では、回答者のほとんどが必要に見合った十分な供給があると回答した。米の回答者によると「供給状況は良好であり、必要なものはほぼ手に入る」とのこと。

## ディズニー・リゾート予約動向 (グローバル)

調査対象: 旅行代理店 (欧・亜)

“一部の顧客がより早期に予約を始めている米国への旅行を除き、休暇のためのディズニー・リゾートの予約時期に変化はなかった。”



調査によると、08年春夏のオランダ(米)のディズニーリゾート(DR)の予約は前年比で独で増加、仏、英で横ばい、香港、日では減少しているとのこと。アナハイム(米)の予約は独、香港、印で増加、仏、英で横ばい、日では減少。露、中では観光ビザ取得が困難なため、平均的な消費者にとっては高額であるため予約者は少ない。仏、英からオランダ、香港からアナハイムについては08年夏の予約をこれから行う消費者からの今後の予約は前年より増加すると見られている。米国外の施設の08年春夏の予約状況では、独、英、印でのパリ・ディズニーランド(DL)の予約は前年比で増加、仏、日では横ばい~増加。香港DLの予約は中、印で増加、日で横ばい~増加、欧で横ばい、香港では減少。東京DLはアジア以外ではほとんど人気がなく、取扱っている代理店も少ない。現時点でのディズニークルーズの予約は前年比で、日本で増加、仏で横ばい、英で減少。独、露、中、香港、印ではディズニークルーズの取扱いはないとのこと。一部の顧客がより早期に予約を始めている米国への旅行を除き、休暇のためのDRの予約時期にほぼ変化はなかったとのこと。少数が予約をキャンセルした点も昨年同様。回答者によると中、日の消費動向は変化なし、仏、独、露、英では安いものにシフトしており、印ではまちまちとのこと。前年比のディズニー施設の価格は米のDRと東京DLでは横ばい、パリDLでは概ね上昇、香港DLについてはまちまちとのこと。

## ビデオゲーム (米国)

調査対象: ゲーム愛好者 (米)

“米国のゲーム愛好者の間では、アクション/冒険、スポーツ、そして、戦略系ゲームの人気が高い”



米国のゲーム愛好者へのインタビューで、アクション/冒険、スポーツ、そして、戦略系ゲームソフトの人気が高いことがわかった。シミュレーションやロールプレイング・ゲームは人気が低い。ゲームを選ぶ時のポイントは、ジャンル、人気/推薦、画像とのこと。現在愛好しているゲームとしては、Call of Duty(Activision)、ゼルダの伝説、スーパーマリオギャラクシー、マリオパーティ(以上、ニンテンドー)が挙げられた。今後最も人気が出ると思われるゲームでは、Halo: Chronicles(Microsoft)、スーパースマッシュブラザーズ、マリオカートWii(以上、ニンテンドー)、ファイナルファンタジーXII(スクエアエニックス)が挙げられた。さらに、好きなゲーム発売元ではニンテンドー、Electronic Art、ソニー、Activisionが挙げられ、ハドソン、コナミ、カプコムは人気が低かった。回答者のほとんどが今後6ヵ月の間に、ゲーム全般及びニンテンドー限定のいずれでも、同様のゲームを購入予定とのこと。ゲーム機では、最も使用するゲーム機としてはXbox360とWiiの人気が最も高く、Wiiは2番目に使用するゲーム機としても首位。パソコンとニンテンドーDS/DS Liteがそれに続いている。次に購入予定のゲーム機ではWiiが首位、PS3とXboxがそれに続いている。回答者の44%が来年中に新しいゲームシステムを購入する予定で、新しいシステムを購入するまでの期間は平均で16ヵ月とのこと。

**ご留意事項:**  
 Grassroots<sup>SM</sup>リサーチはRCMの一部門です。情報及び見解は事実及びレポート及びフィールド調査員からのその他の情報に基づいています。レポート及びフィールド調査員は独立契約業者として、RCMにリサーチ情報を提供している、またはその関連会社であるRCMの顧客のために執行される発注による手数料により収益を得ているブローカー・ディーラーの業務を行っています。RCMではこれらの情報源は信頼性があり、誠実な情報を提供すると考えていますが、情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。RCMは当資料の更新、変更、修正の義務、または、当資料の内容の変更や結果として正確性が失われた場合に受領者に通知する義務を負っていません。さらに、当資料に反映されていない情報をRCMが有している場合があります。RCM及びその関係会社は当資料に含まれる情報によって直接的あるいは間接的に発生した損失や損害に対する責任を負わないものとします。RCM及びその関係会社、役員、顧客は自己のアカウントに保有する当資料掲載銘柄または関連銘柄に影響を与える、または、影響を受ける場合があります。作成会社の事前の承諾なく、当資料の一部または全部を使用、複製、転用、配付等することを禁じます。

RCMはサンフランシスコ、ロンドン、フランクフルト、東京、香港、シドニーに運用拠点を有する資産運用会社です。

本資料は情報提供を目的として、当社(RCMジャパン株式会社)の関係会社であるRCM Capital Management LLC(以下、「作成会社」)が作成した英文資料を当社が翻訳(または抄訳)したものであり、特定の証券や金融商品等の推奨や販売勧誘をするものではありません。翻訳(または抄訳)には正確を期していますが、必ずしも完全性を当社が保証するものではありません。また、抄訳の場合には、原資料の趣旨を必ずしもすべて反映した内容になっていない場合があります。本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります。また、予告なく変更される場合があります。本資料には将来の市場の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における作成会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、過去のパフォーマンスや動向は将来の収益や結果を保証するものではありません。作成会社の事前の承諾なく、当該資料の一部または全部を使用、複製、転用、配付等することを禁じます。